

緊急報告会

令和6年能登半島地震災害の教訓 — 沖縄県への提言

琉球大学島嶼防災研究センター
センター長 カストロJ.J.

琉球大学島嶼防災研究センターは、令和6年1月1日に発生した能登半島地震による被害状況とその特徴を調査するため、2月29日～3月3日の間、被害調査団を派遣いたしました。つきましては、被害調査団の報告会を下記日程にて行い、能登半島地震及び津波の被害状況から学び、沖縄県への提言を考えていきたいと思ひます。



記

日時： 令和6年 3月18日（月） 15:00-17:30
場所： 琉球大学文系講義棟215（大講義室）

1. 挨拶と調査概要
2. 地震・津波の特徴
3. 地盤災害
4. 建築物の被害
5. インフラの被害及び避難所
6. DMATによる災害医療活動
7. 沖縄県への提言

カストロJ.J.（島嶼防災研究センター）
中村 衛（理学部）
松原 仁（工学部）
中田 幸造（工学部）、尾身 頌吾（工学部）
カストロJ.J.（島嶼防災研究センター）
土屋 洋之（南部医療センター）
島嶼防災研究センター

連絡先：

琉球大学 島嶼防災研究センター

TEL&FAX：098-895-8829

E-MAIL：bousai@acs.u-ryukyu.ac.jp、ウェブサイト：http://bousai.skr.u-ryukyu.ac.jp/